

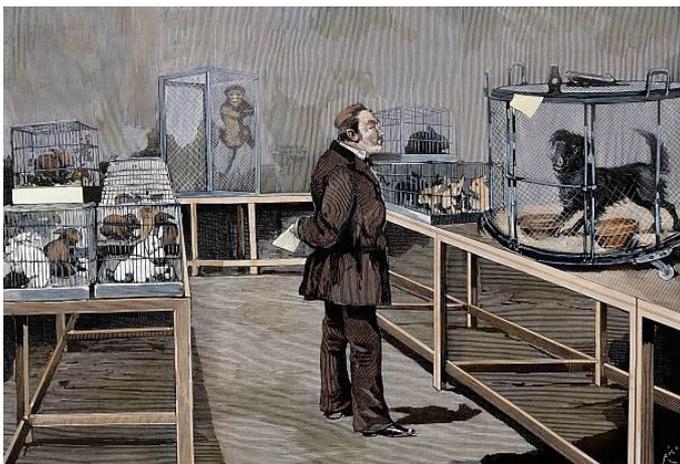
9月28日は、「世界狂犬病デー」です !!



今なお世界中で猛威をふるい続ける狂犬病の撲滅を目的に、2007年9月28日に定められました。

2008年からは、毎年9月28日は、世界狂犬病デーとなっています。

9月28日は、狂犬病ワクチンの開発者であるフランスの生化学者・細菌学者のルイ・パスツール（1822～1895）の命日にちなんだものです。



「科学には国境はないが、科学者には祖国がある」という言葉で知られています。  
ルイ・パスツールは、同僚との協力の下、世界で初めて**狂犬病**に効果的な弱毒**ワクチン**を開発した人物です。

炭疽菌や結核菌、コレラ菌の発見者であるドイツの医師・細菌学者のロベルト・コッホ（1843～1910年）と共に「近代細菌学の開祖」とされています。

## 登録・狂犬病予防注射は飼い主の義務！

- 犬を飼ったら、30日以内<sup>※</sup>に市役所(市役場)で犬の登録をしましょう。(生涯1回)  
(※生後90日以内の犬を取得した場合は、90日を経過した日から30日以内)
- その際に交付される鑑札を、犬に装着しましょう。
- 狂犬病予防注射を受けさせましょう。(年1回)
- 注射済票を、犬に装着しましょう。
- 身元証明のため、マイクロチップの装着は有効です。
- 飼っている犬が死んでしまったり、引越し等で住所が変わった時は届出を行ってください。

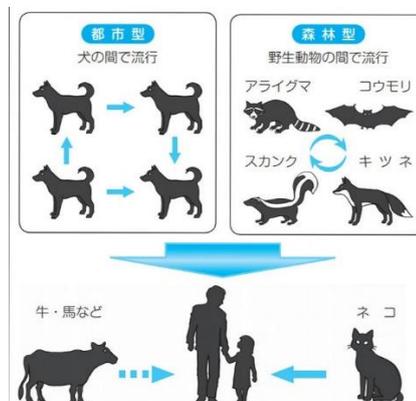
犬の登録や狂犬病予防注射を行わないと、  
狂犬病予防法により処罰される場合があります

【一読メモ】  
狂犬病は犬やヒトも発病すると、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。世界では現在でも年間約5万人のヒトが亡くなっています。  
日本でも、いつ狂犬病が発生するかわかりません。そのための備えが必要です。



災害時や、雷・花火の前には驚いて、もし迷子になっても、鑑札や済票が付いていれば、お家がすぐ判るんだ!

予防注射は、4～6月の集合注射会場か、近くの動物病院でできるよ。



## 狂犬病とは、狂犬病ウイルスによる感染症です。

人は、感染動物(主として犬)に噛まれることによって唾液からウイルスに感染し、長い潜伏期の後に発症します。発症してしまうと有効な治療法はなく、ほぼ100%死亡します。

現在日本での狂犬病の発生は認められていません。しかし、アジア、アフリカを中心に世界では年間5万人以上の死亡者が発生しています。

狂犬病は、狂犬病ウイルスを保有するイヌ、ネコおよびコウモリを含む野生動物に咬まれたり、引っ搔かれたりしてできた傷口から侵入、極めて稀ではありますが、濃厚なウイルスによる軌道粘膜感染によって発症する「人獣共通感染症」なのです。

「人獣共通感染症」とは、人と動物に共通して感染する感染症のことです。

## 新型コロナウイルス感染症も、動物由来の感染症の一つです。

まさに「ワンヘルス」そのものなのです。

2022年9月28日

福岡ワンヘルス協議会・事務局